

# 久保忠一後援会ニュース

活動報告夏号 2012年7月1日発行

発行者 鴨川市議会議員

久保忠一 (くぼただかず)

住所 東条地区広場1709番地 1960年3月9日 生所属団体・役職  
エビハラ病院(薬剤師・ケアマネ)、NPO法人床ずれ研究会(代表)、日本褥瘡  
学会(千葉県支部実行委員)、認定NPO法人生活情報推進ネットワーク(副  
代表)など

## 連絡先

090-7402-3941

FAX: 04-7093-6030

E-mail: qqbm5s5w9

@able.ocn.ne.jp

携帯メール

toppie.nozomi@docomo.ne.jp

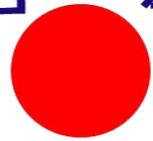
住所: 東条地区

広場1709番地



がんばろう

日本



ごあいさつ

向暑のみぎりではございますが、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、消費増税は一応の決着を見ました。

多くの国会議員も増税反対こそ正義であると言っております

が、日本経済に大打撃を与えた大震災の対応と復興にどれほどの命を傾けたのでしょうか。特に最も身近な家族から「放射能が怖くて、逃げだした。長年お世話になった方々の一番苦しい時に見捨て逃げたに人間は地元や日本の為にならない」と言われた政治家が、正義を装っていること

に違和感を感じます。議論は、選挙を踏んでからやるべきだという筋で、増税に舵を切るに至った要因となった大震災への対応の評価が、そのまま選挙の結果になると言い換えることもできません。

私の知る限り多くの方々は、増税は大変だが致し方ないと考えてはいるようです。ただ、超少子高齢化社会を迎え、税収の落ち込みと社会保障費の増加が自明な中、経済成長を遂げるには、強かなリーダーシップと国家経営センスを持ち合わせたリーダーの登場が待ち望まれます。

意により、国や地方を動かすことのできる統治の仕組みや質の高い政治家を決める政治の実現という歴史のターニングポイントに差し掛かった現在であることを自覚する必要があると感じております。

この鴨川でも、議会の一員として市政を活性化させて行く強い気持を持ち続けられるよう、頑張る所存ですので、今後ともご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

